# Silex 製画像伝送 アクセスポイント 連携マニュアル

本書は、Silex 製画像伝送アクセスポイントを使用して、xSync Classroomの 画面をワイヤレスディスプレイに表示させる手順の説明書です。 ※画像伝送アクセスポイントを初めて使用する場合は、P4 設定編 を先に参照してください。

#### 目 次

接続編	2
画像伝送アクセスポイントの起動方法	2
ワイヤレスディスプレイの接続	2
ワイヤレスディスプレイの切断	3
設定編	4
ダウンロード	4
画像伝送アクセスポイントの設定	4
投影支援ソフトウェアのインストール	4

Silex 製画像伝送アクセスポイント連携マニュアル PVCXC-M020-C 本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

# 接続編

画像伝送アクセスポイントの起動方法

- **1.** 電子黒板を接続している OA タップを教室の電源コンセント に接続します。
- **2.** ディスプレイと画像伝送アクセスポイントの電源を入れ、パ ソコンを起動します。
- **3.** ディスプレイの入力を「HDMI」にし、画像伝送アクセスポイントの待受画面を表示します。



 補足↓
 ・ 待受画面表示前は、「Starting…」のメッセージとプログレスバー が表示されます。準備が完了すると、「Ready to connect」と表示 されます。

# ワイヤレスディスプレイの接続

**1.** xSync Classroom のホーム画面左下にある「提示機に接続」 をタップします。



接続可能な機器が一覧表示されます。

2. 受信機を選択して、[接続]をタップします。



ワイヤレスディスプレイ側に以下画面が表示されます。



## ワイヤレスディスプレイの切断

**1.** xSync Classroom のホーム画面左下にある [提示機に接続] を選択します。



接続している機器が表示されます。

2. 接続している機器を選択して、[切断]をタップします。



#### xSync Classroom

# 設定編

## ダウンロード

付属のマニュアル記載の URL から、以下の必要なツールをダウンロードしてください。

- NetDA Setup (アクセスポイントの設定に必要)
- SX Virtual Link Display for Education 先生用 (接続・投影に必要)

#### 画像伝送アクセスポイントの設定

**1.** 画像伝送アクセスポイントを開梱して、AC アダプターと接続します。

画像伝送アクセスポイントの電源が入ります。

- **2.** ディスプレイの HDMI 端子に、画像伝送アクセスポイントを 接続します。
- LAN ケーブルを使用し、ハブ経由でパソコンと接続します。
  注意小 無線 LAN 接続で運用する場合も、初回設定時には有線での LAN 接続 が必要です。
- 4. NetDASetup を実行し、ネットワークの設定を行います。



## 投影支援ソフトウェアのインストール

**1.** 投影支援ソフトウェア (SX Virtual Link Display) をインストールします。

SX Virtual Link Display が起動し、設定済みの画像伝送アクセスポイントの一覧が表示されます。



補足↓ ・ 無線 LAN 経由で運用される場合は、パソコンの無線 LAN 設定も行った上で、設定済の画像伝送アクセスポイントの一覧をご確認ください。

2. SX Virtual Link Display から接続・投影を確認する

一覧から投影先をダブルタップして接続し、投影を開始します。

- メインデスクトップの画面解像度が、接続前と変更されていないことを確認します
  ※変更していたら、Windowsのディスプレイ設定から接続前と同じ設定に戻します。
- 画像伝送アクセスポイントに投影されているデスクトップ画面が、
  「拡張」デスクトップ画面であることを確認します。
  ※「複製」の場合は Windows のディスプレイ設定から拡張表示に変更してください。

確認出来たら切断し、SX Virtual Link Display を終了します。